

フィリピン国機動性向上のための RRTS 開発実行可能性調査

*この業務には、元請会社からの協力依頼により補強として参加しました。

プロジェクトの概要

発注者：国際協力機構

期間：2006年8月～2007年12月

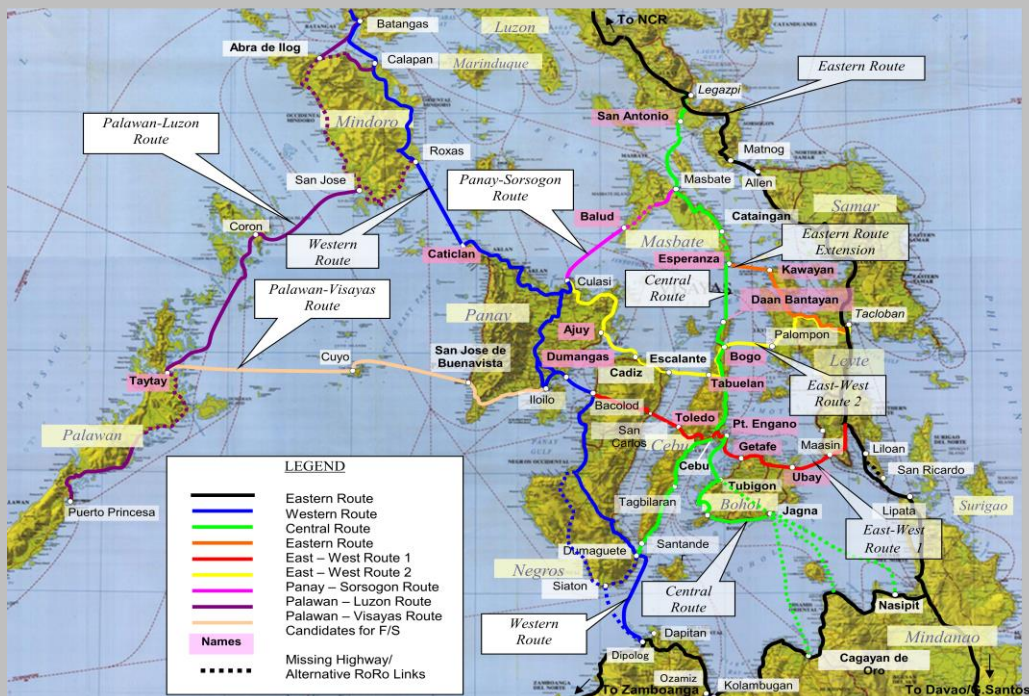
目的：島嶼国であるフィリピン国は国内の物流の効率化を図るため、島嶼相互間を結ぶ複合交通 RoRo フェリー・サービス網（RRTS：Road and RoRo Terminal System）の振興を国の主要政策として進めている。本調査は整備すべきフェリー・ルートの選定と優先して整備すべきターミナルの整備計画の策定およびその実行可能性調査を行う。

弊社が担当した活動

担当分野：港湾計画

主な内容：

- 道路の現況と整備計画の確認およびフェリー運航路線の状況の確認
- 島嶼間の貨物輸送量推計に基づく8つの幹線 RoRo フェリールートの選定
- 整備すべきターミナルの選定と2015年を目標とした施設整備計画の策定
- 公共と民間が整備すべき施設の分担
- 実行可能性評価
- ステークホルダー会議支援



RoRo フェリー・ルートと実行可能性調査対象港湾（出典：JICA 調査報告書）